

GMP Sによるサスティナブルな公共交通への貢献 ～高知県四万十市における自動運転サービス実証実験に参画～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、8月21日（日）から28日（日）まで、四国旅客鉄道株式会社（以下「JR四国」）予土線の江川崎駅～道の駅よって西土佐（ともに高知県四万十市）の間において、西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議が実施する自動運転サービス実証実験に「GMP S」※1を提供します。

西土佐地域では、鉄道駅から周辺観光施設への移動手段が限られているうえ、予土線の利用促進につながる観光誘客が大きな課題となっており、それらを解決する手段の一つとして小型モビリティによる自動運転サービスが期待されています。

今回は、ヤマハ発動機株式会社が提供する7人乗りの「GSM」※2に磁気センサモジュールを搭載します。本実験では、電波環境や天候の影響を受けないGMP Sの高い信頼性を実証するとともに、磁気マーカ設置間隔の拡張による更なるコスト低減も併せて検証します。

今後もGMP Sの早期社会実装に戦略的に取り組み、次世代公共交通システム確立に貢献していきます。

※1 当社独自開発の自動運転支援システム「磁気マーカシステム」のこと。
車両底部に取り付けた磁気センサモジュールが、走路に敷設した磁気マーカの微弱な磁力を検出し、自車位置を高精度に推定。
Global Magnetic Positioning Systemの略
特設サイト：<https://www.aichi-steel.co.jp/smart/mi/gmps/index.html>



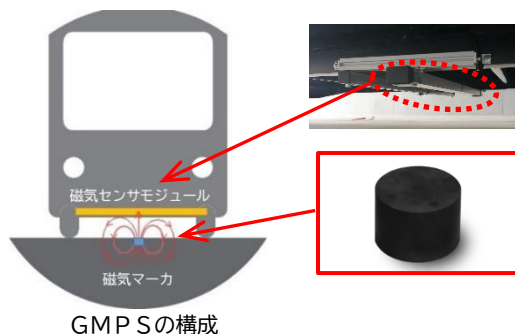
※2 ヤマハ発動機グループが企画製造販売する電動モビリティ「グリーンスローモビリティ」のこと。
20km/h未満で公道走行が可能。CO₂排出量が少なく、速度制限による高い安全性、運転操作が容易、狭い路地で通行が可能といったメリットがある

【江川崎駅～道の駅よって西土佐間における自動運転サービス実証実験 概要】

1. 実施主体：西土佐地域自動運転モビリティ実証実験企画会議
(国土交通省、高知県、四万十市、JR四国などが参画)
2. 実施期間：2022年8月21日（日）～28日（日）
3. 走行ルート：江川崎駅～道の駅よって西土佐間の公道（片道約900m）
4. 磁気マーカ：道路埋設型の磁気マーカを、走行ルート往復で計約800個設置



今回の実証実験で用いるGSM



車底搭載の磁気
センサモジュール
(1個/台)

磁気マーカ
(直径30mm×
厚さ20mm)

5. 参考URL：<https://www.city.shimanto.lg.jp/uploaded/attachment/5676.pdf>（四万十市HP）